



西澤 桂一 議員

# 愛荘町の農林・商工業政策

**Q** 多くの課題があるのに取り組みが弱い

**A** 国・県の補助事業を含め取り組んでいる

**問** 3月に愛荘町農業振興計画が作成された。多くの課題が示されているが、29年度予算でこれに対する取り組みがない。

**答** (産業建設部長) 農業経営者の減少・高齢化、耕作放棄地の増加、農業所得の減少など全国的な課題と同様の状態にある。今後、担い手の育成、農業経営の法人化の推進、農産物の付加価値による農業所得の向上など国・県・関係機関が一体となって事業推進を図っていく。

**問** 愛荘町の農林業についてのどのような課題認識を持っているか。

**答** (農林振興課長) 愛荘町の基幹産業である農林関係予算は約2億円で全予算額の2%弱である。しかも職員人件費などを除いた農業の活性化に係るものは3、4千万円と少ない。商工業に至っては1億円程度の予算額で、雇用の場の確保や財源収入に結びつく工場等の誘致に係る取り組みは皆無に近い。

**問** 国の農業政策は、基本的に大規模化である。これに伴って、農地の集約化や農業事業者の形態が変わってきている。認定農業者はそれぞれの経営方針を持ち自己責任で経営されているが、問題は兼業農家や小規模農家で構成された農業法人と、未だ法人化が進んでいない集落農業をどのように支えるかである。このことについて問う。

**答** (農林振興課長) 任意の集落営農組織では、国の補助金を活用しにくいことから、町として法人化されていない集落営農について機械器具および施設整備を対象にした補助金を予算化している。今年度は3集落が対象。任意組織のままでは、限界があるので法人化に向けての支援をしていく。



米、麦、大豆以外に花卉栽培に取り組む農業法人(西出)

**問** 赤字が続けば、経営が破綻し農業法人は成り立っていかない。経営指導、技術指導、販路の確保、金融機関の融資など重要な課題が山積している。どこの農業法人も一生懸命経営努力されているが、農業法人としては限界があり、町としてこの面における支援が必要である。

**答** (農林振興課長) 赤字が続けば、経営が破綻し農業法人は成り立っていかない。経営指導、技術指導、販路の確保、金融機関の融資など重要な課題が山積している。どこの農業法人も一生懸命経営努力されているが、農業法人としては限界があり、町としてこの面における支援が必要である。この他に、企業誘致についての質問をしましたが、紙面の都合で省略します。

# あなたの声を町政に

## 一般質問

一般質問とは、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などに方針を問うものです。

**制限時間** 質問のみ 30分以内 (答弁は別)

**質問方法** ☆ 一括方式

- ・最初に全部の質問をし、まとめて回答を得る
- ・同一議題に対しての質問は3回まで

☆ 一問一答

一問ごとに質問・回答を繰り返す

### 【平成29年6月定例会】一般質問一覧

西澤 桂一 議員 【一問一答】	① 愛荘町の農林・商工業政策に関して
徳田 文治 議員 【一括方式】	① 安心・安全なアレルギー給食について
瀧 すみ江 議員 【一問一答】	① 高浜原発の再稼働について ② 高齢者保健福祉計画および第7期介護保険事業計画について ③ 就学援助について ④ 学童保育について
辰己 保 議員 【一問一答】	① 国民健康保険事業の県統一化と本町の役割について ② 町内巡回バスの実施を求めることについて ③ 生活に密着した身近な道路等における人優先の安全・安心な歩行空間の整備について ④ 「弾道ミサイル飛来に伴う対応」と称した子どもへの文書配布について
河村 善一 議員 【一問一答】	① 中山道再生整備事業の進捗状況について ② 障がい者福祉について ③ 弾道ミサイル落下時の行動等についての対応
伊谷 正昭 議員 【一問一答】	① 通学路と生活道路における安全確保の推進について ② 地域包括ケアシステムについて

議会だよりでは、スペースの関係で質問と答弁を要約してあります。また、質問通告をした第1回目質問内容だけで、再質問以後のやりとりは記載していません。